

地域の元気を 引き出す力になる。

○係員時代 〈消防行政から税務行政を経て市町村財政の支援を経験〉

消防庁では消防職団員等の表彰に係る業務に携わりました。人命優先の立場から、災害による死傷者の発生を最小限にとどめるために努力されている方々に学ぶことは多く、自分はどういうように国や地方に貢献できるのかを考えていました。自治税務局では市町村財政を支える安定した基幹税である固定資産税の償却資産に係る業務を担当し、制度や実務を学びました。その後、奈良県に赴任し、市町村の財政を支援する業務を経験しました。

○係長時代 〈「地方自治」の視点で行政のあり方を議論、そして現場へ〉

「地方分権一括法」の施行により、わが国の地方自治制度の姿を一刷新するための取組が行われた後、本格的な地方分権時代を迎え、地方公共団体が自らの責任と判断でその任務を遂行し、住民の負託に応えていかなければならないという基本的認識に立ち、各省庁との調整、法律・政令の立案や国会対応を経験しました。その後、鶴ヶ島市に赴任し、企画財政を所管する立場から、住民に身近な事務権限の委譲を積極的に県から受けることや、官民連携による地域資源の活用・企業誘致により「稼ぐ力」を引き出すこと等様々な行財政改革を実行しました。

○今、そしてこれから 〈「東京一極集中」の是正を目指して〉

「地方創生」の実現には、地域の「稼ぐ力」を引き出し生産性の高い雇用を創出すること、地方への「ヒト」の流れをつくる必要があります。また、これらの受け皿(生活圏である「まち」)の整備も必要です。現在、過疎地域等に定住を図る「地域おこし協力隊」、定住の受け皿を形成する「定住自立圏構想」等を推進しています。さらに、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、新たな事業をスタートしています。

MESSAGE

総務省では、地方勤務の経験をいかして、地方(故郷)のために仕事ができること、そして、地方に赴任し、現場から新たな課題に挑戦することができることも魅力です。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

自治行政局地域自立応援課主幹

萩原 良智

HAGIWARA Yoshitomo

平成13年 4月 総務省採用
消防庁総務課
平成14年 4月 自治税務局固定資産税課
平成15年 4月 奈良県総務部市町村課
平成16年 10月 公営企業金融公庫融資部融資第一課(兼 第二課)
平成18年 9月 自治行政局行政課総務室
平成19年 4月 自治行政局行政課総務室総務係長
平成20年 4月 自治行政局行政課行政第四係長
平成22年 4月 自治行政局行政課行政第三係長
平成24年 4月 鶴ヶ島市総合政策部長
平成27年 4月 自治行政局地域自立応援課企画係長
併任 自治行政局地域自立応援課
定住自立圏推進係長
併任 自治行政局地域自立応援課
人材力活性化・連携交流室
平成29年 4月 現職

